

タッチパネル式自動券売機購入にかかる仕様書

公益財団法人東京タクシーセンター

1 購入物件

タッチパネル式券売機

2 数 量

2 台

3 製品仕様

(1) タッチパネル式券売機

- ① 操作性が良く、購入者が券購入時に扱い易い機種とする。
- ② 発券に関する基本的な操作はタッチパネルによること。
- ③ 非課税（試験手数料）、課税（各研修受講料・英語検定手数料）があることから非課税・課税のレシート・領収書が発行できること。
- ④ レシート・領収書はインボイス対応、タクシーセンターのマークを印字し、複製出来ない仕様とする。
- ⑤ 集計用のジャーナルが出せる仕様とする。

(2) キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QR・バーコード）対応

- ① クレジット・・・V i s a、M a s t e r、J C B
- ② 電子マネー・・・交通系、i D、楽天E d y
- ③ QR・バーコード・・・P a y P a y、楽天p a y、d払い、a u P a y

以上、必須の銘柄とし、手数料に関しては、見積もりにて提示されたものをもとに担当者間の話し合いで決定する。

(3) 釣銭機

- 循環型とし、新紙幣対応、新500円硬貨（令和3年以降発行）対応で、下記の金種が使用できる機種とする。

対応紙幣・・・ 1万円、5千円、千円

対応硬貨・・・ 500円、100円、50円、10円

(4) その他

- ① 転倒防止対策を施すこと。
- ② 納入する券売機一式については、メーカーによる品質管理の下で製造されたものであって、その品質を保証された新品でなければならない。よって、ショップオリジナル製品、中古品、事故品、展示品、新古品等については、これを不可とする。
- ③ 納入する券売機一式について、納入日までに後継機種等が発売されることが明らかになり、当該製品の納入が困難になった場合には、後継機種等が入札時に示した製品と同等又は同等以上の製品であることを書面（様式自由）により証明すること。

4 規 格

- テーブルトップ部分（21インチ～24インチ程度）
幅30～50cm × 奥行25～65cm × 高さ65～85cm
程度で、高齢者が見易い画面とし、防犯のために安易に持ち運びできない対応を施した仕様とする。
- 土台部分（テーブルトップ部分と合わせ、大人を目線で操作出来る高さ）
幅40～50cm × 奥行30×65cm × 高さ150～180cm（テーブルトップ含む）
総重量 20kg～40kg程度

5 保証及びメンテナンス

- ① 保証期間は機器の納入から1年間とし、その後の保守契約の期間については本契約時もしくは年度毎に担当者間の話し合いにて決定する。
- ② 保守等業務の受付対応については、一元的な窓口とする。
- ③ 券売機等が故障した場合や不具合が生じた場合、原則として保守実施者の技術員を設置場所に派遣し、速やかに正常な状態に回復させること。
なお、保守については、センター業務時間（土、日、国民の祝日及び休日、1月2日、3日、12月29日、30日、31日を除いた平日の午前9時から午後5時まで）に作業開始とし、センター職員からの連絡から2時間以内に作業実施または作業開始予定時間の連絡をすること。
- ④ 機器の製品不良、物品の搬入及び据付の不備等の原因で所定の性能を発揮しない場合は、納入年数の経過に関わらず、受注者の負担において点検整備、改造、修理を行うこと。

6 参考機種

- テーブルトップ
 - ・カウンタートップCASHIER POS 券売機（カウンタートップ型）
- 土台（自動釣銭機）
 - ・グローリー社製（380シリーズ）

7 納入場所

- 公益財団法人東京タクシーセンター（江東区南砂7丁目3番地3号）
2階 教務部 事務所隣

8 納入期限

- 令和7年8月29日（金）まで

9 その他

- 運用開始時に支障が出ないよう初期設定の責任を負うこと。
- センター職員が最低限の操作をできるよう操作マニュアルを作成すること。

- 入札額には、①券売機一式、②運送、搬入、設置、設定などの初期費用、③当初1年間の保守費用を含めること。
- 設置工事は担当者間で研修・試験等業務に支障の出ない日程調整を行い、平日の午前9時～午後5時の間で実施する。
- インターネット回線については、センターで用意するので、センターの指定するIPアドレス等の設定を行い、センター職員の指示に従って回線に接続すること。
- 納入時に生じた梱包材及びダンボール等の廃材については、撤去及び廃棄処理すること。
- 本仕様書に記載のない事項・疑義が生じた際には、発注者と受注者協議のうえで決定する。